

かながわビジネスオーディション2014 最終審査 発表ビジネスプラン概要

発表時間	12:30~12:45	No. 1	ビジネスプラン名	「防災トランプ」から広がる世代を越えた地域交流の場づくり
法人名・個人名	(株)ウイングベース		代表者役職・氏名	代表取締役 福本 壘
住所	神奈川県愛甲郡愛川町角田644		電話	046-280-6844
HPアドレス	[企業サイト] http://wingbase.co.jp [防災トランプ公式サイト] http://bousai-trump.jp/		メール	fukumoto@wingbase.co.jp
事業の背景・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人は災害時に異なる状況にあり、行政は皆を助ける余力がありません。 ・しかし、防災訓練の多くは画一的で、専門的な訓練の実施も限定的です。 ・近隣で助け合うために、自分目線で防災を考え、世代を越えた交流が必要だと考えました。 ・誰もがわかるトランプに防災を加え、地域交流の場をつくり、住民目線の防災を世に発信します。 			
経営理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・科学のおもしろさを活かしたツール開発と地域交流の場としての拠点形成、防災のような社会問題や興味関心のあるテーマをセットにして、見過ごされがちな草の根の情報を常に大切に作る姿勢で取り組みます。 ・防災に限らず、高齢化社会を背景に、健康や少子化、結婚、恋愛など様々なテーマでの展開が可能なモデルを目標とします。 			
事業概要	<p>本事業は、防災トランプの開発、はじめて教室による交流拠点形成と防災発言のデータ収集、データ活用の3段階で構成され、収益ポイントはトランプ販売、教室開催、データ利用料金の3点になります。交流拠点を定期的に人を集め、近隣の助け合いを促しながら、住民目線で草の根的な防災情報をデータとして蓄積し、データベースとして整備、課金サービスとして展開することで政策提言につながるビックデータビジネスを実現します。</p>			

事業の流れ

STEP 1
企画・開発


↓

STEP 2
拠点形成・データ収集

⇒

STEP 3
データ活用

防災トランプの開発 キャッシュポイント①:トランプ販売



「防災トランプ」から広がる世代を越えた地域交流の場づくり事業概要

防災トランプのはじめて教室

～定期的に人を集めてプレイする拠点～

開催形式	効果
拠点型	プレイデータの収集
出張型	コミュニティグループ形成
大規模型	プレイリーダーの養成

のれんわけ(新規拠点形成)
出張型・大規模型の開催依頼

キャッシュポイント②:はじめて教室の開催

草の根防災情報の蓄積

いつ・どこで・だれが
どのような状況で
危険・被害・対策に
ついて発言したか?

プレイアンケート
災害対策の実施状況
近隣との会話状況

ユースケース
プレイレポート

ビックデータビジネス

草の根防災情報データベース

草の根防災情報の配信サービス

年齢別・地域別・男女別・災害種別

冊子 地図 web サイト スマホアプリ

キャッシュポイント③:データ利用料

実施体制

企画開発・研究・販売
株式会社ウイングベース

生産 **昇文堂**

販売代行 **AMAZON**

戦略判断 **戦略会議**

人材育成・登用 **はじめて教室運営会議**

外部連携 店舗販路開拓 **株式会社ONEON**

サーチエンジン解析
ランディングページ分析 **株式会社ジャック&ビーンズ**

プレイレポート制作
アンケート集計
やりとり記録
教室運営キット制作
プレイリーダー養成
のれんわけ支援
パスワード事例集制作 **神奈川わかものシンクタンク**

NPO法人 オープンコンシェルジュ

連携 **広報会議** (公式Web, Web制作・更新, メディア対応, アプリ制作)

目標売上高	平成25年度	2,568千円	平成26年度	3,638千円
	平成27年度	3,638千円	目標達成期	20,758千円

今後の課題と対策

- ・ビックデータビジネスを成功させるには「データの蓄積」が必須で、そのためには「拠点を形成し多くプレイしてもらうこと」が重要になり、「はじめて教室の運営」が最重要です。
- ・課題は、「人材育成と人的リソース管理」です。教室運営キットや、リーダー養成講座を整備し、常に4名体制で運営することにより冗長化を図ります。